

平成19年度 資金管理料金特別会計 収支計算書(案)の説明書

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

資料3-6

* 予算額は、科目間の流用及び予備費の充当後の金額を記載している。

(金額の単位:百万円)

科 目	決算額 (a)	予算額 (b)	予算額 との差異 (a)-(b)	前年度 決算額 (c)	前年度決算額 との差異 (a)-(c)	差異の内容																																				
I 事業活動収支の部																																										
1. 事業活動収入																																										
① 事業収入																																										
資金管理料金収入	4,044	4,415	△ 371	13,091	△ 9,047	<p><予算との比較></p> <p>【預託台数】 (単位:万台)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>決算(a)</th> <th>予算(b)</th> <th>差異(a)-(b)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新車時</td> <td>532</td> <td>570</td> <td>△ 38</td> </tr> <tr> <td>継続検査時</td> <td>337</td> <td>349</td> <td>△ 12</td> </tr> <tr> <td>引取時</td> <td>84</td> <td>119</td> <td>△ 35</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>953</td> <td>1,038</td> <td>△ 85</td> </tr> </tbody> </table> <p>新車販売不振により新車時預託台数が減少したために予算を下回った。 $380円 \times \Delta 380千台 = \Delta 144.4百万円$ $480円 \times \Delta 470千台 = \Delta 225.6百万円$ 合計 $\Delta 370百万円$</p>		決算(a)	予算(b)	差異(a)-(b)	新車時	532	570	△ 38	継続検査時	337	349	△ 12	引取時	84	119	△ 35	合計	953	1,038	△ 85																
	決算(a)	予算(b)	差異(a)-(b)																																							
新車時	532	570	△ 38																																							
継続検査時	337	349	△ 12																																							
引取時	84	119	△ 35																																							
合計	953	1,038	△ 85																																							
輸出取戻し手数料収入	596	451	145	368	228	<p><平成18年度決算との比較></p> <p>【預託台数】 (単位:万台)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>当年度(a)</th> <th>前年度(b)</th> <th>差異(a)-(b)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新車時</td> <td>532</td> <td>563</td> <td>△ 31</td> </tr> <tr> <td>継続検査時</td> <td>337</td> <td>2,077</td> <td>△ 1,740</td> </tr> <tr> <td>引取時</td> <td>84</td> <td>205</td> <td>△ 121</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>953</td> <td>2,845</td> <td>△ 1,892</td> </tr> </tbody> </table> <p>預託台数の減少により、前年実績を下回った。 $380円 \times \Delta 310千台 = \Delta 117.8百万円$ $480円 \times \Delta 18,610千台 = \Delta 8,932.8百万円$ 合計 $\Delta 9,050.6百万円$</p> <p><予算との比較></p> <p>【輸出返還台数】 (単位:万台)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>決算(a)</th> <th>予算(b)</th> <th>差異(a)-(b)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>輸出返還台数</td> <td>110</td> <td>92</td> <td>18</td> </tr> </tbody> </table> <p>輸出返還台数が増加したため予算を上回った。</p> <p><平成18年度決算との比較></p> <p>【輸出返還台数】 (単位:万台)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>当年度(a)</th> <th>前年度(b)</th> <th>差異(a)-(b)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>輸出返還台数</td> <td>110</td> <td>38</td> <td>72</td> </tr> </tbody> </table> <p>輸出返還台数が増加したため前年実績を上回った。</p>		当年度(a)	前年度(b)	差異(a)-(b)	新車時	532	563	△ 31	継続検査時	337	2,077	△ 1,740	引取時	84	205	△ 121	合計	953	2,845	△ 1,892		決算(a)	予算(b)	差異(a)-(b)	輸出返還台数	110	92	18		当年度(a)	前年度(b)	差異(a)-(b)	輸出返還台数	110	38	72
	当年度(a)	前年度(b)	差異(a)-(b)																																							
新車時	532	563	△ 31																																							
継続検査時	337	2,077	△ 1,740																																							
引取時	84	205	△ 121																																							
合計	953	2,845	△ 1,892																																							
	決算(a)	予算(b)	差異(a)-(b)																																							
輸出返還台数	110	92	18																																							
	当年度(a)	前年度(b)	差異(a)-(b)																																							
輸出返還台数	110	38	72																																							
事業収入計	4,640	4,866	△ 226	13,460	△ 8,820																																					
② 補助金等収入																																										
承認済特定再資源化預託金等出えん収入	397	397	-	-	397	<p><予算との比較></p> <p>・リサイクルシステムの車両状況照会機能拡充にかかる初期費用の充当額とし補正予算で計上している。</p>																																				
③ 負担金収入																																										
自動車製造業者及び日本自動車輸入組合からの負担金収入	1,680	1,849	△ 169	1,914	△ 234	<p><平成18年度決算との比較></p> <p>・資金管理料金と折半負担する費用のうち、主としてシステム関連費支出(システム改修費)が減少したために、前年度実績を下回った。 システム関連費支出 $1,147百万円(決算額) - 1,732百万円(前年度実績) = \Delta 585百万円$</p>																																				
④ 保証金戻り収入																																										
差入保証金返還収入	-	1	△ 1	-	-																																					

科 目	決算額 (a)	予算額 (b)	予算額 との差異 (a)-(b)	前年度 決算額 (c)	前年度決算額 との差異 (a)-(c)	差異の内容																
⑤ 雑収入																						
受取利息収入	4	1	3	3	1																	
還付消費税額	98	-	98	3	95	・消費税は支払となると想定していたが、本年度は還付となった。																
その他収入	3	-	3	1	2																	
雑収入計	105	1	104	4	101																	
事業活動収入計	6,823	7,113	△ 290	15,378	△ 8,555																	
2. 事業活動支出																						
① 事業費支出																						
新車購入時預託関連費支出	1,032	1,113	△ 81	1,193	△ 161	<平成18年度決算との比較> ・新車購入時預託台数の減少に伴い、委託手数料が151百万円減少したことが主な要因である。																
継続検査時等預託関連費支出	2,641	2,769	△ 128	6,520	△ 3,879	<予算との比較> ・車検場端末撤去工事が2ヶ月前倒しになったことで端末機のリース料支払が70百万円減少した。 又、撤去工事関連費用の価格交渉により60百万円削減となり、合計で130百万円減少した。 ・輸出取戻し事業費支出に4百万円を科目間流用した。 <平成18年度決算との比較> ・継続検査時預託台数の減少に伴い、委託手数料が3,652百万円減少したことが主な要因である。																
引取時預託関連費支出	262	349	△ 87	573	△ 311	<平成18年度決算との比較> ・引取時預託台数の減少に伴い、委託手数料が258百万円減少したことが主な要因である。																
輸出取戻し事業費支出	462	463	△ 1	296	166	<平成18年度決算との比較> ・輸出返還台数の増加により前年実績を上回った。 ・継続検査時等預託関連費支出より4百万円科目間流用した。																
システム関連費支出	1,147	1,248	△ 101	1,732	△ 585	<予算との比較> ・主な要因は、リサイクルシステムの安定化に伴うシステム改善費用の減少(55百万円)、システム維持運営費の減少(13百万円)ハードウェア・ソフトウェアのバージョンアップを想定したシステム維持作業費(予算65百万円に対して実績44百万円)の差額21百万円の減少である。 ・車両状況照会機能拡充にかかるアプリケーション開発費用、74百万円を補正予算で計上している。 <平成18年度決算との比較> ・リサイクルシステムが安定したことによりシステム改修・保守費が安定したことが主な要因で、減少している。																
サポート業務運営委託費支出	1,936	2,141	△ 205	1,494	442	<予算との比較> ・主としてデータセンター運営費支出(D.C.)については、第三者ソフトウェア保守のライセンス初期費用91百万円を長期未払金支払支出と二重で計上していたため予算を下回った。 ・コンタクトセンター運営費支出(C.C.)については、問合せ件数の減少に伴い47百万円予算を下回った。 ・なお、車両状況照会機能拡充のデータセンターに於けるサーバー・ソフトウェア・システムエンジニア等費用、作業支援費用、及び第三者ソフトウェア保守料を291百万円補正予算で計上している。 <平成18年度決算との比較>																
						<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>当年度(a)</th> <th>前年度(b)</th> <th>差異(a)-(b)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>D. C. 運営費支出</td> <td>1,567</td> <td>1,090</td> <td>477</td> </tr> <tr> <td>C. C. 運営費支出</td> <td>369</td> <td>404</td> <td>△ 35</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,936</td> <td>1,494</td> <td>442</td> </tr> </tbody> </table>		当年度(a)	前年度(b)	差異(a)-(b)	D. C. 運営費支出	1,567	1,090	477	C. C. 運営費支出	369	404	△ 35	合計	1,936	1,494	442
	当年度(a)	前年度(b)	差異(a)-(b)																			
D. C. 運営費支出	1,567	1,090	477																			
C. C. 運営費支出	369	404	△ 35																			
合計	1,936	1,494	442																			
理解普及活動費支出	116	125	△ 9	81	35																	
資金運用管理費支出	4	8	△ 4	3	1																	
その他の事業費支出	464	466	△ 2	453	11																	
事業費支出計	8,063	8,683	△ 620	12,348	△ 4,285	・DC運営費の増加の主な要因は、車両状況照会機能の拡充に伴うデータセンターの作業支援、運用契約費用が368百万円発生したことである。																

科 目	決算額 (a)	予算額 (b)	予算額 との差異 (a)-(b)	前年度 決算額 (c)	前年度決算額 との差異 (a)-(c)	差異の内容
② 管理費支出						
通信運搬費支出	8	9	△ 1	8	-	
消耗品費支出	2	5	△ 3	3	△ 1	
リース料支出	6	8	△ 2	7	△ 1	
賃借料支出	20	24	△ 4	22	△ 2	
諸謝金支出	21	30	△ 9	25	△ 4	
租税公課支出	-	160	△ 160	119	△ 119	・消費税額は支出を予定していたが、今年度は還付となったため、予算に対して160百万円の減少となった。(還付額は、雑収入-還付消費税額に計上。)
支払手数料支出	2	2	-	1	1	
その他の管理費	3	4	△ 1	5	△ 2	
管理費支出計	62	243	△ 181	190	△ 128	
③ 保証金支出						
差入保証金支出	-	1	△ 1	-	-	
保証金支出計	-	1	△ 1	-	-	
事業活動支出合計	8,125	8,927	△ 802	12,539	△ 4,414	
事業活動収支差額	△ 1,303	△ 1,813	510	2,839	△ 4,142	
II 投資活動収支の部						
1. 投資活動収入						
① 特定資産取崩収入						
退職給付引当資産取崩収入	11	-	11	-	11	
② 敷金・保証金戻り収入						
差入保証金返還収入	-	-	-	-	-	
敷金戻り収入	2	2	-	-	2	
投資活動収入計	13	2	11	-	13	
2. 投資活動支出						
① 特定資産取得支出						
退職給付引当資産取得支出	3	5	△ 2	4	△ 1	
② 固定資産取得支出						
什器備品購入支出	-	1	△ 1	-	-	
ソフトウェア購入支出	14	14		3	11	<予算との比較> ・車両状況照会機能拡充にかかる第三者ソフトウェアのライセンス取得費用、10百万円を補正予算で計上している。 ・当初予算外のデータセンターのハードウェア入替に伴う費用が発生したため予備費より4百万円を充当した。
固定資産取得支出計	14	15	△ 1	3	11	

科 目	決算額 (a)	予算額 (b)	予算額 との差異 (a)-(b)	前年度 決算額 (c)	前年度決算額 との差異 (a)-(c)	差異の内容
③ 敷金・保証金支出						
敷金差入支出	-	-	-	-	-	
差入保証金支出	-	-	-	-	-	
敷金・保証金支出計	-	-		-	-	
投資活動支出計	17	20	△ 3	8	9	
投資活動収支差額	△ 4	△ 18	14	△ 8	4	
Ⅲ 財務活動収支の部						
1. 財務活動収入	-	-		-	-	
財務活動収入計	-	-		-	-	
2. 財務活動支出						
① 長期未払金支払支出						
長期未払金支払支出	86	91	△ 5	85	1	
② 長期借入金返済支出						
長期借入金返済支出	-	-		-	-	
財務活動支出計	86	91	△ 5	85	1	
財務活動収支差額	△ 86	△ 91	5	△ 85	△ 1	
Ⅳ 予備費支出	-	500	△ 500	-	-	
		△ 4	4			
当期収支差額	△ 1,393	△ 2,418	1,025	2,745	△ 4,138	
前期繰越収支差額	6,346	6,346		3,600	2,746	
次期繰越収支差額	4,953	3,928	1,025	6,345	△ 1,392	